

熊本地震復旧・復興住民座談会

4月14日そして16日に発生した大地震。引き続き余震もあわせた熊本地震が起こした被害は、大津町において住家被害をはじめ、地域経済や公共施設などに甚大な被害をもたらしました。

一日も早い復旧・復興を町民の皆さんと実現するための足がかりとして、皆さんからのご意見を頂き、今後の町の復興のための計画

づくりに反映させていくために、「熊本地震復旧・復興住民座談会」を開催しました。

8月29日・30日、そして9月1日の3回にわたって開催した座談会。町からは町長をはじめ全部長や地区担当職員が出席し、地震後の現状などを部署ごとに説明。参加者からは災害対応や地震後の支援などについて、さまざまな提案や意見が出されました。

■開催日…9月1日
■南部地区…大津東小体育館

- からの貯蔵庫に被害があり経営体育成支援事業の助成を受けたいが、原型復旧修繕では難しい。
- 山腹が崩壊している。水路の応急工事を早急にしてほしい。
- 大津東小学校は大雨のときには避難所として使えないので町の防災計画の中で位置づけをして南部地域に新たな避難所を整備してほしい。
- 子どもたちの心のケアを充実してほしい。
- 地域の集会所が被災して地域で集まらなかった。
- 一部損壊の世帯には公的支援がないので検討してほしい。
- 仮設住宅が町の中心部に多い。
- 不通になっているJR瀬田駅と肥後大津駅間の対策をお願いしたい。

座談会であがった主な意見を紹介します。※紹介しきれない意見は町ホームページに掲載しています。

■開催日…8月29日
■北部地区…大津北小学校体育館

- 災害のときは色々なうわさが出てきてしまい、なにが本当かわからない。
- 各農家で格差がでないように農業施設の修繕や建て替えで対応する判定基準がほしい。
- 急傾斜崩壊危険箇所などの下に住居があると家の建て替えができないと聞いたが危険箇所の見直しはできないか検討してほしい。
- 町の復旧・復興のためにはもっと町民の意見が必要。聞く場を作ってもらいたい。
- 消防団が一番頼りになった。
- 大きな避難所は統率がとりにくい。

■開催日…8月30日
■中部地区…町民交流施設（オークスプラザ）2階ふれあいホール

- 家屋や納屋の倒壊の恐れがある。申し込みはしているけれど解体の順番はどうなっているか教えてほしい。
- 仮設住宅やみなし仮設住宅の入居期間は2年となっているが期間延長などを検討してもらいたい。
- ホームページで被災関連情報を探すが、必要な情報を探すのにとても苦労をするので見やすくしてほしい。
- 地域コミュニティの重要性が今回の地震でわかったと思うので住民と共同で防災をしていくべきだと思う。
- 自分の地区では自主防災組織をつくり、役割分担を決めながらやったので良かった。全地域に広げてもらいたい。

地震のとき何を
感じましたか？

大津町の創造的復興を考えるフューチャーセッション開催

熊本地震から半年……

大津町の復興に向けて あなたの声を聴かせてください

平成28年熊本地震から半年が経過した今、これから大事にしたいこと、大切にしていかなければならないことなどについて、皆さんの思いを広く聴かせてください。町では、地震の体験を皆さんで共有し対話をする場を、次のとおり開催します。

皆さんの参加をお待ちしています。

- 日 時 10月16日(日) 午後1時～午後5時
 - 場 所 美咲野小学校体育館
 - 申し込み 誰でも参加自由ですが、事前申し込みが必要です。
 - 申し込みホームページ
(<http://kokucheese.com/event/index/424865/>) ⑥QRコード
- ※町内から参加の人は、地震の際の記憶に残る写真(提供可能なもの)があれば1枚お持ちください。



● 問い合わせ 役場総合政策課 企画政策係
☎096(293)3118



3日間、たくさんの要望や意見ありがとうございました。頂いた意見を参考に復旧・復興に向けて努力します。これからも皆さんの貴重な意見をお待ちしています。